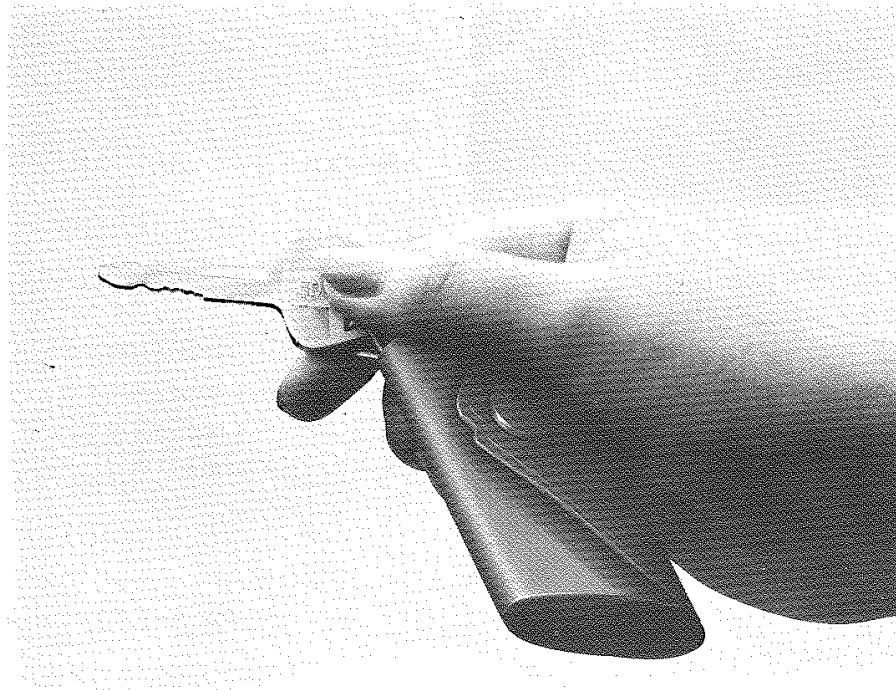


エンジンの始動

CORONA **MARK II 1700** HARDTOP / **1900** HARDTOP



キャブレターには、オートマチック・チョークがついています。エンジンが冷えているときには、自動的にチョークをして、エンジンの始動を容易にしております。

次の要領で、エンジンを始動してください。

1. パーキング・ブレーキをかけ、シフト・レバーをニュートラルにします。
2. アクセル・ペダルをいっぱい踏みこんで離すとオートマチック・チョークが働きます。アクセル・ペダルを踏みこむ回数は外気温によって次のように行ってください。

外 気 温	アクセル・ペダルを踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

3. クラッチ・ペダルは踏み込んだ状態

で、このときアクセル・ペダルを踏まないでエンジンをかけてください。

4. 始動後、暖機を十分行なってください。このとき、オートマチック・チョークが働いてアイドリング回転数がいくぶん高目となり暖機を助けております。

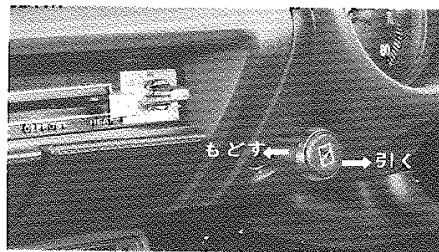
5. 暖機後、アクセル・ペダルを一度軽く踏んでください。これにより、オートマチック・チョークの働きがなくなり、正規の回転数にもどります。

《注意》

1. スターター・モーターは10秒以上使用しないでください。10秒以内で始動しない場合、30秒位休み、バッテリーの回復をまってから、再始動してください。

2. 外気温が低いときは始動後、エンジンの回転が円滑に持続しない場合がありますので、このときはアクセル・ペダルを踏んでエンジンが円滑に回転するようにしてください。

■〈SL車, GSL車〉



SL車にはチョーク・ボタンがついています。引っぱり出すとチョークができます。

エンジンが暖まっていない状態で始動が困難な場合に使用します。エンジンが冷えていて始動困難の場合には次の要領で行なってください。

1. チョーク・ボタンをいっぱい引いてください。
2. アクセル・ペダルを踏まないでスタータを回してください。
3. 始動後もチョーク・ボタンをいっぱい引いたままで暖機運転が出来ます。

4. 始動後、エンジンの回転数が2,500 r.p.m以上になったら、チョーク・ボタンを徐々にもどし、エンジンの回転数が2,000r.p.m程度になるように、チョーク・ボタンを調整して、十分暖気運転を行なってください。

5. エンジンが暖まり、チョークを使用しなくてもエンジンが円滑に回転するようになったら、チョーク・ボタンを元にもどしてください。

《注意》

1. スターター・モーターは10秒以上使用しないでください。10秒以内で始動しない場合、30秒位休み、バッテリーの回復をまって、再始動してください。

2. 始動直後、エンジンの回転が円滑に持続しない場合は、アクセル・ペダルを踏みながら円滑に回転するようにしてください。